

1 学校の沿革

明治	7・11・13	横山小学校大嶺分校として西川に仮校舎設置
	22・4・1	町村制発布に基づき龍川尋常小学校大嶺分校と改称
	25・5・1	龍川村立大嶺尋常小学校として独立
	34・11・1	龍川村の大字大嶺・戸倉の二区，山香村の大字下平山・瀬尻の二区を併せ龍山村が設置され龍山村立大嶺尋常小学校と改称
	43・3・19	高等科を設置し龍山村立大嶺尋常高等小学校と改称
大正	15・3・19	龍山尋常高等小学校と改称
昭和	5・3・31	戸倉・白倉両小学校と合併
	5・4・1	龍山第一尋常高等小学校と改称し，白倉分校を置く
	16・4・1	龍山村立第一国民学校と改称
	22・4・1	龍山村立龍山第一小学校と改称し，龍山中学校大嶺教室を併置
	31・6・12	龍山中学校大嶺教室を分離
	32・4・1	保育部を設置，校舎の一部を改築，鉄筋二階建四教室，特別教室二教室及び管理室新設
	34・12・22	鉄筋教室へ三階を増築，四教室完成
	36・4・1	瀬尻小学校高嶺分校を合併
	37・4・1	白倉分校5・6年生を本校に合併
	40・4・1	増改築校舎完成，白倉分教場統合
	40・4・15	完全給食開始
	45・12・19	プール完成
	49・4・1	幼稚園年少組設置
	54・3・26	地震対策非常階段設置
	58・8・31	校舎耐震補強工事
	60・8・2	静岡県教育研究会指定へき地教育研究会発表
平成	3・6・11	新プール竣工
	5・2・3	県教委・村教委指定「教科等授業研究推進」研究発表会
	7・10・27	文部省指定へき地教育研究発表会・東海北陸地区へき地教育研究大会
	11・6・23	コンピュータ設置
	14・4・1	静岡県教育委員会防災教育推進モデル校指定
	15・11・6	静岡県教育委員会防災教育研究発表会
	16・4・1	龍山北小学校と統合
	16・6・24	へき地教育・複式学級指導者講習会会場
	16・10・18	西校舎耐震補強工事完了
	17・10・28	浜松市教育委員会指定研究発表会
	17・10・31	運動場拡張工事完了
	19・2・19	校舎改修工事（トイレ・浄化槽・配水管・配電盤・理科室等）完了
	20・10・1	機械警備開始
	21・2・20	ベランダ改修工事、自動火災報知器・誘導灯・非常灯設置工事完了
	22・4・30	非常階段付け替え工事完了
	22・9・30	擁壁工事開始（校舎北側斜面）
	24・4・25	擁壁工事終了（グラウンド整地完了）

2 学区の概要

龍山町は、峰の沢鉱山や秋葉ダム建設で賑わった昭和30年代をピークに、昭和40年以降人口流失が激しく、過疎化と高齢化が進んでいる。近年、従来からの基幹産業である林業や製茶業等の地元産業への従事者が減り、生計を維持するため町外に勤務する家庭が増えている。都市部との交流が進む中で、保護者の価値観も多様化しつつある。

平成16年度に龍山第一小学校と龍山北小学校が統合したことにより、本校の学区は龍山町全域ということになった。地区によっては長距離の通学となることから、3名がスクールバスにより登下校している。